



from 東北

全国諸教会の皆様、日頃から祈りと献金によるお支えと励ましをありがとうございます。東北は、見事な紅葉の秋から、いよいよ寒い冬へと季節は移っていきます。震災から4年8カ月が過ぎても、未だ復興の途上ですが、一部の被災地域では大きな変化を迎えようとしている所もあります。今号は、宮城県の宮前仮設住宅支援、元浦屋敷仮設住宅支援、また戸倉小学校での学習支援の様子をお伝えします。

亘理町宮前仮設住宅支援活動



☞ 宮前仮設集会所にて
2015年11月16日、最後のお茶会に集まってくださった方々と。

宮前仮設住宅支援は大きな転機を迎えています。11月16日(月)が、宮前仮設住宅集会所における最後のお茶会の日となりました。最大85戸入居できるところ、現在の入居者は7戸。復興住宅の完成とともに転居された方が多く、入居者も減少し、集会所が施錠され、ボランティアの受け入

れも終了となりました。宮前仮設住宅での初めてのお茶会は2011年7月27日。それから81回のお茶会を開いてきました。ここまで継続できたのも、主イエスの先立ちと全国の皆様のお支えのおかげです。「お茶会」は最後になりましたが、私たちは宮前仮設住宅から最後のお一人が出られるまで通い続けて励まし続けるつもりです。引き続きお祈りください。最後に、宮前仮設住宅におられた方からのメッセージを紹介します。

「今まで本当にありがとうございました！宮前仮設にいた皆が心から感謝しています。仮設に入ってから沢山の支援物資を頂き、老若男女すべての人に温かい言葉をかけてもらいました。最初はふさがちだった私たちは少しずつ前を向けるようになりました。楽しいイベントはいつしか一緒に作っていけるようになりましたね。全国からの美味しいお菓子は愛に溢れていました！お茶会では、何度も一緒に泣いたり笑ったり、楽しい思い出です。皆さんが亘理に通って来てくれたことに深く感謝いたします！皆様にもよろしくお伝えください。」心から感謝して。

(仙台長命ヶ丘教会 金丸 真)

元浦屋敷仮設住宅支援活動

元浦屋敷仮設住宅は宮城県石巻市の中心部にあり、この地域も津波の被害を受けました。大富教会では2011年からこの仮設住宅での支援活動に関わらせていただいています。今までアメリカや韓国の教会から多くのボランティアチームをお迎えし仮設住宅にお連れし、お土産をお渡ししたり交わりの時を持ちたりしてきました。

現在は2、3ヶ月に1度、生活用品やお菓子、お花などをお届けしています。毎年クリスマスには教会の子どもたちと訪問し、集会所に集まってくださった皆さんとクリスマスの賛美歌を歌ったりしています。長い間班長をされていたご夫婦は、遠い中私たちの教会にも来てくださいました。



2011年には41世帯の方々がお住まいでしたが、今は24世帯となっています。復興住宅の抽選に当たらず不安に思っておられる方や、復興住宅に移ったけれども新しいご近所の方との関係作りの難しさを感じておられる方々など、多くの悩みを持っておられます。これからもその方々に寄り添い、共に喜びと悲しみを分かち合っていきたいと祈っています。

また全国の諸教会はじめ、海外からも被災地を覚えて祈り続けてくださっている兄弟姉妹が多くいることに感謝し、その方々の祈りと想いを被災地の方々に繋げていくお手伝いができれば、と願っています。

(大富教会 タワリー優)

☞ 元浦屋敷仮設集会所にて

ハワイからのボランティアチームと共に、歌やフラダンスを行ってくださるチームもあり、楽しい交流となっています。日系人の方々が多く、親近感を覚えておられます。

戸倉小学校支援活動

宮城チームでは、東日本大震災直後から、被災した宮城県沿岸部の小学校(大川小・戸倉小)へ支援活動を行っています。震災当初、仮住まいの学校では物資が不足しており、食料品や学用品、備品などをお届けしました。継続した学校訪問を通して、状況に合った様々な学習支援がなされ、現在、音楽療法の取り組みが行われています。

仙台から車で2時間、戸倉小学校は宮城県北東部の沿岸にあります。全校生徒71名の小学校です。震災では校舎屋上を越える津波が来襲し、校舎は全壊。児童の80%が自宅を失いました。

2013年9月から、特別支援学級に在籍する児童を対象に、音楽の授業単位で音楽療法を実施しています。発達に遅れのある児童3名と音楽活動を通して、交流を続けています。出会った時1年生だった双子の兄弟(自閉症)は3年生、R君(知的)は5年生になりました。

震災で受けた子どもたちの心の奥にある傷はなかなか目には見えません。言葉でうまく表せない、人とのコミュニケーションも取りにくい彼ら

にとって震災での出来事は過酷なものだったでしょう。

音楽は、人が言葉で言い表せないこと、しかも黙ってはられないことを表現することができます。また、人と人を繋ぎ、伝え合うメディアでもあります。

ここでは、音や音楽活動を通して感じる心や身体を育て、子どもたちの成長の様子をみています。生きる力を育ててほしいと願いながら活動を続けています。(仙台教会 向井田のぞみ：音楽療法士)

新戸倉小学校 ☞

これまで善王寺小学校から志津川小学校(2度の仮住まい)へ通学をしていましたが、2015年10月戸倉に新校舎が落成。南三陸の海を一望できる、森に囲まれた高台へ移転しました。子どもたちがこの学校を巣立つ姿(3年後)を見届けたいと思っています。

